

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

2020年5月15日

各位

中外製薬とイーライリリー・アンド・カンパニーによる 抗体エンジニアリング技術に関するライセンス契約の締結について

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役会長 CEO：小坂 達朗）は、イーライリリー・アンド・カンパニー（本社：米国・インディアナポリス、会長 CEO：デイビッド・A・リックス、以下、リリー）と、中外製薬の複数の抗体エンジニアリング技術に対する全世界における非独占的ライセンス契約を締結したことをお知らせいたします。

本契約によりリリーは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する治療薬の研究開発を目的に、中外製薬の複数の抗体エンジニアリング技術に対する使用権とともに、当該技術を用いた抗体医薬品を開発・販売する権利を取得します。

中外製薬 代表取締役社長 COO の奥田 修は、「人々の健康や生活、さらに経済・社会に多大な影響を与えている COVID-19 に対し、ヘルスケア関連企業が協働して治療薬やワクチンの研究開発を行っていく動きをさらに加速させていく必要性が高まっています」と述べるとともに、「このたび当社独自の抗体エンジニアリング技術がリリーの COVID-19 に対する抗体の研究開発に活用されることとなりました。技術の提供を通じ、リリーによる新薬の創出、そして COVID-19 治療オプションの拡大につながることを大いに期待しています」と語っています。

リリー・メディシズ・イノベーション・ハブ シニアバイスプレジデントのウィリアム・ヒースは、「COVID-19 に対する様々な治療手段を探求すべく全速力で活動を進めています」と述べるとともに、「中外製薬の抗体エンジニアリング技術を活用することにより、抗体の半減期延長や機能の幅を広げることが可能となり、本抗体の COVID-19 に対する予防的な投与の可能性も追求できると考えています」と語っています。

中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の東京証券市場一部上場の製薬企業です。ロシュグループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開し、アンメットメディカルニーズを満たす革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。中外製薬に関するさらに詳しい情報は <https://www.chugai-pharm.co.jp/> をご覧下さい。

以上